ELECOM

Laneed
Easy Network Solution Provider

Ethernet Board

PCI バス対応 10/100Mbps イーサネットボード

LD-10/100AL

パッケージ内容を確認する	P6
製品の保証とユーザ登録	P7 ～ P8
本製品について	P9 ～ P10
各部の名称とはたらき	P11
コンピュータ本体に取り付ける	P12 ～ P13
Windows98 でのセットアップ	P14 ～ P18
WindowsMe でのセットアップ	P19 ～ P21
Windows2000 でのセットアップ	P22 ～ P24
WindowsXP でのセットアップ	P25
ドライバのアンインストール	P26 ～ P30
ネットワークの設定について	P31 ～ P43
アダプタのプロパティについて	P44 ～ P46
電源の管理について	P47 ～ P48
付録 1　こんなときは	P49 ～ P55
付録 2　仕様	P56

User's Manual

エレコム株式会社

ご注意

- ●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- ●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- ●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- ●本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- ●本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- ● Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および ™ は省略させていただきました。

PCI バス対応 10/100Mbps
イーサネットボード

LD-10/100AL

User's Manual
ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、弊社ラニード製品 PCI バス対応イーサネットボード "LD-10/100AL" をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-10/100AL" をコンピュータに導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客様が安全に "LD-10/100AL" を扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

●このマニュアルで使われている記号について

記 号	意　味
注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
Memo	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

⚠ 警 告

本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体と周辺機器の電源を切り、電源プラグを AC コンセントから抜いて、作業をおこなってください。
電源プラグを抜かずに作業をすると火災や感電、故障の原因になります。

小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業をおこなわないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。
けがや感電をしたり、部品を飲み込んだりする危険性があります。

本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品を取り付けたコンピュータ本体から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を取り付けたコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注 意

コンピュータ本体のカバーや本製品の取り付け、取りはずしのときは慎重に作業をおこなってください。
強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。

本製品の取り付け、取りはずしのときは、本製品に触れる前に金属性のもの(スチールデスク、ドアのノブなど)に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。

本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間、本製品を取り付けたコンピュータ本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。

本製品は第二種情報装置(商工業地域で使用される情報装置)で、商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)に準拠しています。したがって、住宅地またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受像機等に受信障害を与えることがあります。このマニュアルの説明に従って正しくお取り扱いください。

導入手順フロー

本製品を使用するまでの手順の流れを示します。

1 パッケージの内容を確認します。
(6 ページ)

↓

2 ユーザ登録をします。
(7 ページ)

↓

3 本製品を取り付けます。
(12 ページ)

↓

4 Windows のプラグ＆プレイ機能により、本製品を自動的に認識します。
本製品のドライバをインストールします。

Windows98：	14 ページ
WindowsMe：	19 ページ
Windows2000：	22 ページ
WindowsXP：	25 ページ

↓

5 必要に応じてプロトコルやサービスを追加します。

もくじ

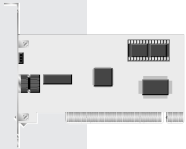
安全にお使いいただくために …… 2
警告 …… 2
注意 …… 3
導入手順フロー …… 4
もくじ …… 5
1 パッケージ内容を確認する …… 6
2 製品の保証とユーザ登録 …… 7
製品の保証とサービス …… 7
ユーザサポートについて …… 8
3 本製品について …… 9
本製品の特長 …… 9
動作環境 …… 10
4 各部の名称とはたらき …… 11
5 コンピュータ本体に取り付ける …… 12
6 Windows98 でのセットアップ …… 14
7 WindowsMe でのセットアップ …… 19
8 Windows2000 でのセットアップ …… 22
9 WindowsXP でのセットアップ …… 25
10 ドライバのアンインストール …… 26
Windows98/98SE/Me でのアンインストール …… 26
Windows2000 でのアンインストール …… 28
WindowsXP でのアンインストール …… 30
11 ネットワークの設定について …… 31
Windows98/98SE/Me でのピアー・ツー・ピア環境の設定例 …… 31
Windows2000 のネットワーク設定例 …… 34
WindowsXP のネットワーク設定例 …… 41
12 アダプタのプロパティについて …… 44
プロパティを表示する …… 44
設定項目の詳細 …… 46
13 電源の管理について …… 47
Windows2000 で電源を管理する …… 47
WindowsXP で電源を管理する …… 48
付録 *1* こんなときは …… 49
Laneed サポートセンターへ連絡する前に …… 55
付録 *2* 仕様 …… 56

1 パッケージ内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

●イーサネットボード

LD-10/100AL　1 枚



●保証書

●ドライバディスク

3.5 インチフロッピーディスク　1 枚

●ユーザーズマニュアル

1 冊

●Navitool Lite ディスク

3.5 インチフロッピーディスク　1 枚

2 製品の保証とユーザ登録

製品の保証とサービス

本製品は、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。ユーザサポートについては 8 ページをご覧ください。

■保証期間

保証期間はお買い上げの日より 1 年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

■修理の依頼

保証期間中に故障した場合には、故障した製品と保証書におよび修理依頼書(故障状況を記入したもの)を添えてご連絡ください。修理品のお問い合わせについては、**エレコム修理センター**までお問い合わせください。

修理品ご送付先

・住　所　　〒 192-0904 東京都八王子市子安町 3-5-2
　　エレコム修理センター

なお、上記住所は修理品受付のみになります。

修理品についてのお問い合わせは、下記の連絡先にお願いします。

エレコム修理センター（お問い合わせ窓口）

・電話番号　0426-31-0271　　・FAX 番号　0426-31-0272
・受付時間　月曜日～金曜日　9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00
　（夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く）

ユーザサポートについて

ユーザサポートは、ユーザ登録されているユーザの方を対象におこなっているサービスです。ユーザ登録は、ホームページ上でのオンライン登録になります。

■ホームページからのオンライン登録

ユーザ登録は、ホームページからオンラインで登録します。以下の URL アドレスにアクセスし、必要事項を入力して登録してください。登録が完了すると、登録完了の電子メールが送信されます。ユーザ登録された方には、電子メールで新製品情報、サポート情報をお届けします。

エレコム ホームページアドレス
http://www.elecom.co.jp/

■ Laneed サポートセンター

本製品をお使いになっているときに、何らかのトラブルが起きたときや、操作方法や使いかたがわからなくなったときには、Laneed サポートセンターにご連絡ください。

・電話番号 03-3444-5571　・FAX 番号 03-3444-8205
・受付時間 月曜日～金曜日 9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 18:00
（夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く）
※ FAX による受信は、24 時間受け付けています。

■ FAX 情報サービス

エレコム製品に関する最新情報を 24 時間いつでも FAX でお届けします。お近くの下記サービス情報 BOX センターにお電話をおかけください。ガイダンスにしたがって取り出したい BOX 番号をご指示ください。

東 京 03-3940-6000 ／大 阪 06-6455-6000 ／名古屋 052-453-6000
福 岡 092-482-6000 ／札 幌 011-210-6000 ／仙 台 022-268-6000
広 島 082-223-6000
メインメニュー BOX 番号 5 5 9 9 0 0

※在庫・納期・価格などに関するお問い合わせは、各営業拠点へお願いいたします。

3 本製品について

本製品の特長や動作環境などを説明します。

本製品の特長

●100Mbps 環境へリーズナブルに対応

本製品は、ネットワーク環境を 10Mbpsから 100Mbpsへリーズナブルに移行することを可能にしたイーサネットボードです。Fast Ethernet環境を導入することで、ネットワーク上で増大するトラフィック量にゆとりを持たせることができます。リーズナブルな本製品なら大規模なネットワーク環境でも、ためらうことなく 100Mbps環境が導入できます。

●WindowsXP や Windows2000、WindowsMe に 対 応、Windows のプラグ＆プレイに対応

最新のOSであるWindowsXPやWindowsMeにも対応していますので、最新の環境でも安心して導入できます。また、WindowsXPやWindows2000はもちろん、Windows98/98SE/Meのプラグ＆プレイにも対応していますので、わずらわしいハードウェア設定の必要なしにコンピュータにセットアップすることができます。PCIバスに取り付けたあとでWindowsを起動すれば、あとはドライバをインストールするだけの簡単セットアップです。

●バスマスタ機能により CPU への負担を軽減

データ伝送の制御を CPU に替わって、本製品自身が制御するバスマスタ機能により CPU への負担を軽減しました。せっかく CPU を高速化しても、新しいデバイスによって処理が増えては意味がありません。本製品なら CPU への負担を抑えて、ネットワークの導入が計れます。また、バスマスタ機能では、CPU の処理状況に関係なくシステムバスへのアクセスがおこなえるため、頻繁なアクセスが可能になり、データの伝送速度も向上します。

● Auto-Negotiation 対応だから 10Mbps ⇔ 100Mbps 自動切り替え

Auto-Negotiation 機能により、接続先の伝送速度を自動的に判断、10Mbps か 100Mbps か適切な伝送速度を実現します。また、詳細設定によりネットワークアダプタのプロパティで、伝送速度を固定することも可能です。

● FIFO バッファを内蔵し、効率のいい処理と転送を実現

本製品は FIFO バッファを内蔵しています。FIFO バッファにより、先に入ったデータから先に処理されますので、効率のいい処理がおこなわれ、転送速度を向上することができます。

● Full-Duplex 対応で高速データ転送

Full Duplex(全二重モード)に対応。同じく Full Duplex 対応のスイッチング HUB に 100BASE-TX または 10BASE-T 用ケーブルで接続すると、データの送信と受信を同時におこなえます。これにより、チャネルの帯域幅が 200Mbps(10BASE-T は 20Mbps)に増大され効率のよい伝送路を持ったネットワーク環境が実現できます。さらに、CSMA/CD プロトコルの特長であるコリジョンの回避により、パフォーマンスの低下を防ぎます。

動作環境

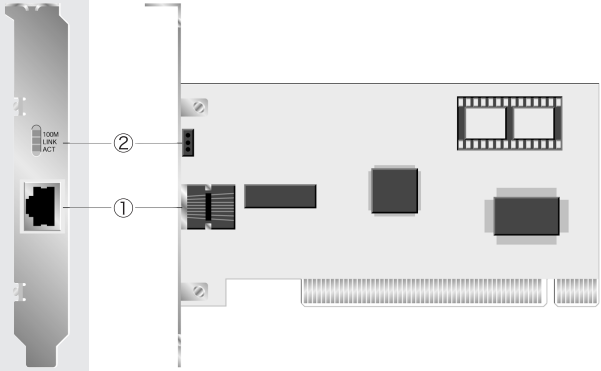
本製品は次に動作環境に対応しています。

対応機種	IBM PC および PC/AT 互換機(DOS/V マシン)、NEC PC98-NX で下記の条件を満たす機種(自作機は除く) ・PCI バスの空きスロットがあること ・IRQ の空きがあること
対応 OS	WindowsXP、Windows2000、Windows98、Windows98SE、WindowsMe

※弊社エレコム ホームページにて、本製品に対する最新の対応 OS およびドライバのご案内をしています。

4 各部の名称とはたらき

LD-10/100AL の各部の名称とはたらきを説明します。



①	RJ45 モジュラージャック(10BASE-T, 100BASE-TX)		10BASE-T または 100BASE-TX 対応ケーブルの RJ45 モジュラープラグを接続します。
②	LED インジケータ	本製品の接続状況を知らせます。	
		100M	接続環境が 100Mbps の場合に緑色に点灯します。10Mbps 環境では消灯しています。
		LINK	HUB などの外部との接続が正常なときに緑色に点灯します。
		ACT	データの送信時または受信時に緑色に点灯します。データは断続的に送受信されますので、見かけ上は点滅しているように見えることがあります。

5 コンピュータ本体に取り付ける

本製品をコンピュータ本体の PCI バスに取り付けます。コンピュータ本体の種類によっては、カバーの開けかたや PCI バスへの本製品の取り付けかたが異なります。ご使用になるコンピュータ本体のマニュアルに記載されている PCI バス用ボードの取り付け方法の説明も参考にしてください。

作業を始める前に、コンピュータ本体および周辺機器の電源プラグを AC コンセントから必ず抜いてください。本製品の取り付け時に人体が内部回路に触れる場合があります。電源プラグを差し込んだままにしておくと、感電の原因になります。

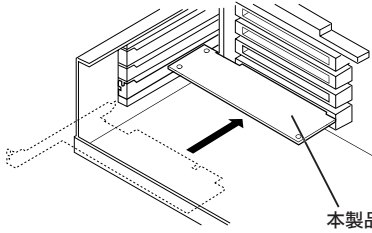
1 コンピュータ本体および周辺機器の電源を OFF の状態にし、電源プラグが AC コンセントから抜いていることを確認します。

2 コンピュータ本体のカバーをはずします。
カバーのはずしかたについては、コンピュータ本体のマニュアルを参照してください。

3 本製品を取り付ける PCI バススロットを決め、そのスロットカバーをはずします。
取り付ける PCI バススロットは 32bit および 64bit どちらのタイプでも構いません。
本製品を取り付けることができるだけのスペースがあるか、差し込んだ場合にマザーボード上のコネクタ類に接触しないか確認してください。

4 スロットカバーをはずした PCI バススロットに、本製品をしっかりと差し込み固定します。
ゆがみのないように、ゆっくりとスロットの奥まで均一に差し込みます。

本製品を湾曲させた状態で無理に固定したり、マザーボード上のコネクタ類に接触した状態で本製品を固定すると、本製品やコンピュータ本体が故障する恐れがあります。



5 ネットワークケーブルを本製品に接続します。

6 コンピュータ本体のカバーを元に戻し、電源プラグを AC コンセントに差し込みます。

・Windows98/98SE をお使いの場合
・・・・・・・・・・・・・・「Windows98 でのセットアップ」14 ページ
・WindowsMe をお使いの場合
・・・・・・・・・・・・・・「WindowsMe でのセットアップ」19 ページ
・Windows2000 をお使いの場合
・・・・・・・・・・・・「Windows2000 でのセットアップ」22 ページ
・WindowsXP をお使いの場合
・・・・・・・・・・・・・・「WindowsXP でのセットアップ」25 ページ

6 Windows98 でのセットアップ

本製品は、Windows98 のプラグ＆プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows98 を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

ここでは、Windows98SE の画面で説明していますが、Windows98 をお使いの場合でも同様の手順でセットアップが完了します。
WindowsMe や Windows2000、WindowsXP でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

・WindowsMe をお使いの場合
「WindowsMe でのセットアップ」19 ページ
・Windows2000 をお使いの場合
「Windows2000 でのセットアップ」22 ページ
・WindowsXP をお使いの場合
「WindowsXP でのセットアップ」25 ページ

1 「5 コンピュータ本体に取り付ける」（12 ページ）を参照して、本製品をコンピュータ本体の PCI バスに取り付けます。

2 コンピュータ本体の電源を ON にします。
Windows が起動し、〈新しいハードウェアの追加ウィザード〉画面が表示されます。

3 次へ > をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。

Memo

コンピュータ名、ワークグループ名の入力を促されたときは

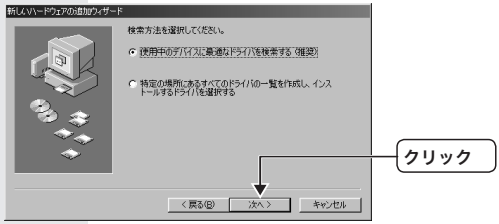
① [コンピュータ名]の入力を促すメッセージが表示されます。 OK をクリックします。

② 【識別情報】タブから[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力します。

コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザの名前、部署単位で扱うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ名	インストール中のコンピュータが接続されているネットワークのグループ名を設定します。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

③ OK をクリックします。

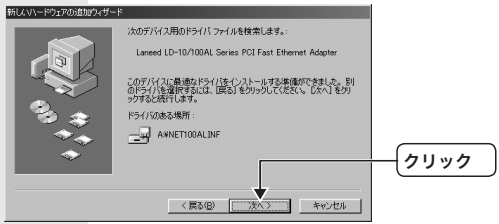
4 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]ラジオボタンを選択して、 次へ > をクリックします。
ドライバの場所を選択する画面が表示されます。



5 コンピュータ本体のフロッピーディスクドライブに、本製品付属のフロッピーディスクを挿入します。

6 「フロッピーディスクドライブ」のみチェックし、 次へ > をクリックします。
ドライバを検索する画面が表示されます。

7 次へ > をクリックします。
インストールを開始します。



Memo すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようにしてください。

8 お使いの環境によっては、Windows98 の CD-ROM を挿入するようにメッセージが表示されます。

Windows98 のバージョンによって、表示されるメッセージは異なります。表示される CD-ROM を挿入し、 OK をクリックしてください。

Memo Windows98 の CD-ROM が入ったドライブを指定するための画面が表示されたときは、「ファイルのコピー元」の入力欄に CD-ROM を挿入したドライブ名を指定し、ドライブ名のあとに「WIN98」フォルダを指定します。

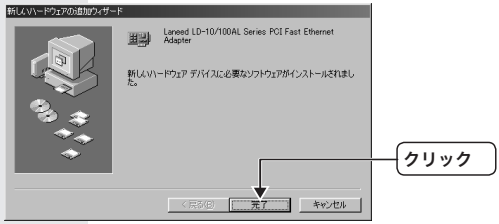
ドライブ名のあとに「WIN98」フォルダを指定します。

(例) CD-ROM ドライブが E ドライブの場合(小文字でも可)

```
e:¥win98
```

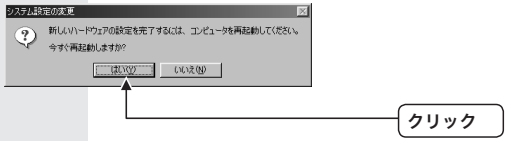
すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようにしてください。

9 完了 をクリックします。



10 コンピュータのフロッピーディスクドライブから、本製品付属のフロッピーディスクを取り出します。

11 お使いの環境によっては、再起動を促すメッセージが表示されます。 はい(Y) をクリックします。
Windows が再起動します。



これで、Windows98 のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、31 ページから Windows98/98SE/Me でのピア・ツー・ピア環境の設定例について説明しています。参考にしてください。

7 WindowsMe でのセットアップ

本製品は、WindowsMe のプラグ＆プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、WindowsMe を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

Windows98 や Windows2000、WindowsXP でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

・Windows98/98SE をお使いの場合
「Windows98 でのセットアップ」14 ページ
・Windows2000 をお使いの場合
「Windows2000 でのセットアップ」22 ページ
・WindowsXP をお使いの場合
「WindowsXP でのセットアップ」25 ページ

1 **「5 コンピュータ本体に取り付ける」（12 ページ）を参照して、本製品をコンピュータ本体の PCI バスに取り付けます。**

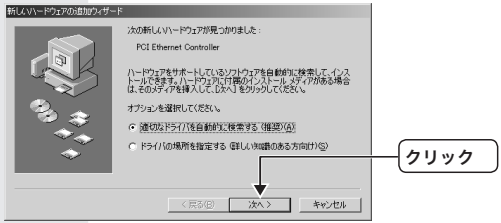
2 **コンピュータ本体の電源を ON にします。**
Windows が起動し、〈新しいハードウェアの追加ウィザード〉画面が表示されます。

3 **コンピュータ本体のフロッピーディスクドライブに、本製品付属のフロッピーディスクを挿入します。**

4 **パソコンの CD-ROM ドライブに CD-ROM が挿入されている場合は取り出します。**

5 **[適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]ラジオボタンを選択して、 次へ > をクリックします。**

自動的にドライバを検索し、インストールを開始します。

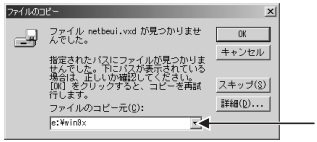


Memo

お使いの環境によっては、ファイルが見つかりませんといった内容の画面が表示されることがあります。この場合は、「ファイルのコピー元」の入力欄に Windows の CD-ROM を挿入したドライブ名を指定し、ドライブ名のあとに「WIN9X」フォルダを指定します。

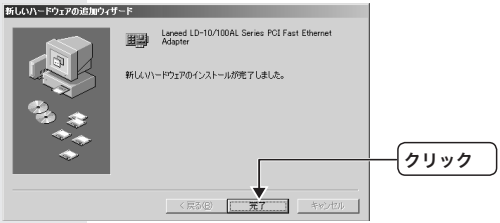
(例) CD-ROM ドライブが E ドライブの場合(小文字でも可)

```
e:¥win9x
```



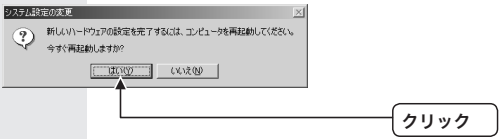
すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようにしてください。

6 完了 をクリックします。



7 コンピュータのフロッピーディスクドライブから、本製品付属のフロッピーディスクを取り出します。

8 お使いの環境によっては、再起動を促すメッセージが表示されます。 はい(Y) をクリックします。
Windows が再起動します。



これで、WindowsMe のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、31 ページから Windows98/98SE/Me でのピア・ツー・ピア環境の設定例について説明しています。参考にしてください。

8 Windows2000 でのセットアップ

本製品は、Windows2000 のプラグ & プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows2000 を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

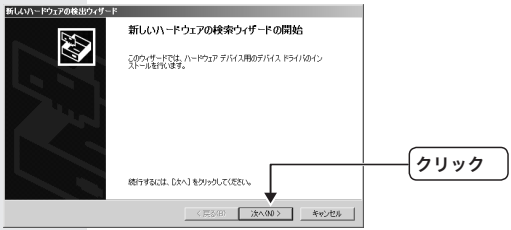
Windows98 や WindowsMe、WindowsXP でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

・Windows98/98SE をお使いの場合
「Windows98 でのセットアップ」14 ページ
・WindowsMe をお使いの場合
「WindowsMe でのセットアップ」19 ページ
・WindowsXP をお使いの場合
「WindowsXP でのセットアップ」25 ページ

1 **「5 コンピュータ本体に取り付ける」(12 ページ)を参照して、本製品をコンピュータ本体の PCI バスに取り付けます。**

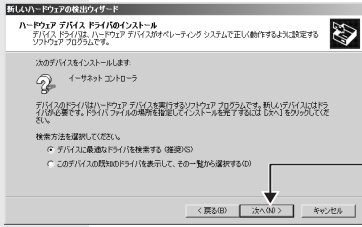
2 **コンピュータ本体の電源を ON にして Windows を起動し、Administrator 権限を持つユーザでログオンします。**

3 次へ(N) > をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。

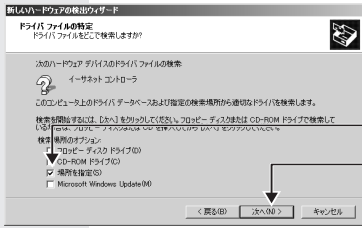


4 **コンピュータ本体のフロッピーディスクドライブに、本製品付属のフロッピーディスクを挿入します。**

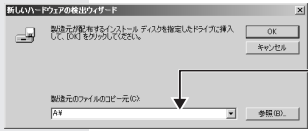
5 [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]ラジオボタンを選択して、 次へ(N) > をクリックします。



6 [場所を指定]チェックボックスをチェックして、 次へ(N) > をクリックします。



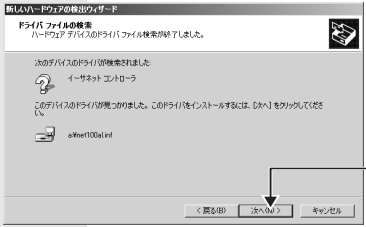
7 「製造元のファイルのコピー元」欄に本製品付属のフロッピーディスクを挿入したドライブ名を入力し、 OK をクリックします。



(例)フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合(小文字でも可)

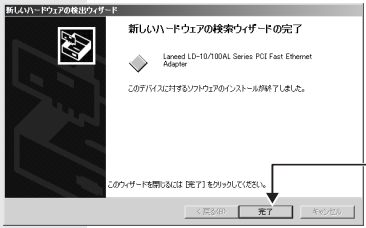
a:¥

8 次へ(N) > をクリックします。
インストールを開始します。



9 はい(Y) をクリックします。
インストールを開始します。

10 完了 をクリックします。



11 コンピュータのフロッピーディスクドライブから、本製品付属のフロッピーディスクを取り出します。

これで、Windows2000 のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、34 ページから Windows2000 のネットワーク設定例について説明しています。参考にしてください。

9 WindowsXP でのセットアップ

本製品は、WindowsXP のプラグ＆プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、WindowsXP を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

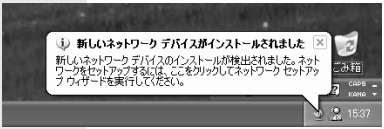
Windows98 や WindowsMe、Windows2000 でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

・Windows98/98SE をお使いの場合
「Windows98 でのセットアップ」14 ページ
・WindowsMe をお使いの場合
「WindowsMe でのセットアップ」19 ページ
・Windows2000 をお使いの場合
「Windows2000 でのセットアップ」22 ページ

1 **「5 コンピュータ本体に取り付ける」（12 ページ）を参照して、本製品をコンピュータ本体の PCI バスに取り付けます。**

2 **コンピュータ本体の電源を ON にして Windows を起動し、Administrator 権限を持つユーザでログオンします。**

3 **WindowsXP が起動すると自動的に本製品が検出され、OS 標準のドライバがインストールされます。**
インストールが終了すると、画面右下のタスクトレイにインストール終了のメッセージが表示されます。



これで、WindowsXP のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、41 ページから WindowsXP のネットワーク設定例について説明しています。参考にしてください。

10 ドライバのアンインストール

各 OS ごとに本製品のドライバのアンインストールについて説明します。
Windows98/98SE/Me/2000 の場合は、ドライバを完全にアンインストールするには、ドライバを削除したあとで、ドライバ情報を削除する必要があります。

●アンインストール作業をはじめる前に

次の手順で、すべてのファイルと拡張子が表示できるようにしておいてください。

1 **Windows98/98SE/Me/2000 の場合は、[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。**
WindowsXP の場合は、[スタート]→[マイコンピュータ]をクリックします。
〈マイコンピュータ〉画面が表示されます。

2 **メニューから[表示]→[フォルダオプション]をクリックします。**
〈フォルダオプション〉画面が表示されます。

3 **【表示】タブで、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックを 外し、「すべてのファイルとフォルダを表示する」をチェックします。**
すべてのファイルと拡張子が表示できるようになりました。

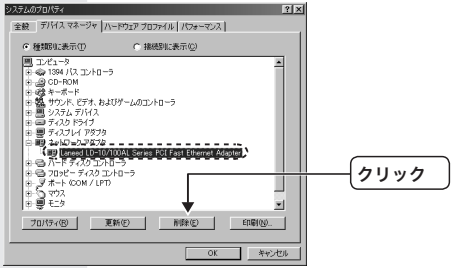
Windows98/98SE/Me でのアンインストール

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。**
コントロールパネルが表示されます。

2 **[コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックします。**
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

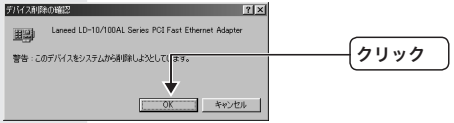
3 **【デバイスマネージャ】タブで、"Laneed LD-10/100AL PCI Fast Ethernet Adapter (rev.B)"を選択し、削除(E) をクリックします。**

〈デバイス削除の確認〉画面が表示されます。



4 OK をクリックします。

ドライバが削除されます。



5 再起動を促すメッセージが表示されます。 いいえ(N) をクリックします。

6 ドライバ情報 "ELECOMNET100AL.INF " を削除します。

ファイルの場所：C:¥Windows¥Inf¥Other¥ELECOMNET100AL.INF
(Windows98/98SE を C ドライブにインストールしている場合)

> **注意** ドライバ情報を削除するときに、他のファイルを誤って削除したり、手を加えないでください。重大なトラブルの原因になります。

これでドライバのアンインストールは完了です。

Windows2000 でのアンインストール

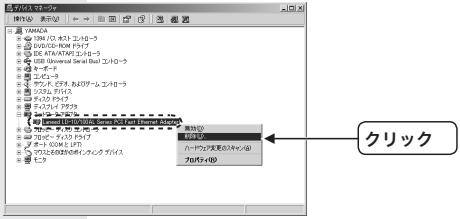
Windows2000 には Administrator 権限でログオンしておきます。

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。**
コントロールパネルが表示されます。

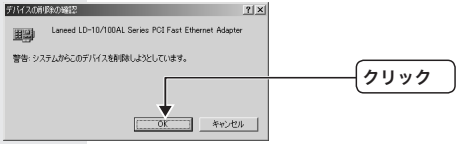
2 **[コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックします。**
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

3 **【ハードウェア】タブで、** デバイス マネージャ(D)... **をクリックします。**
〈デバイスマネージャ〉画面が表示されます。

4 **"Laneed LD-10/100AL PCI Fast Ethernet Adapter (rev.B) " を選択して右クリックし、「削除」をクリックします。**
〈デバイスの削除の確認〉画面が表示されます。



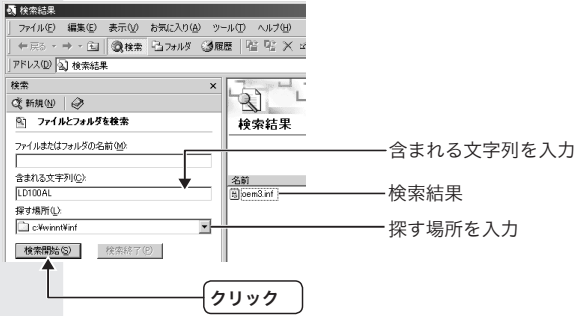
5 **OK をクリックします。**



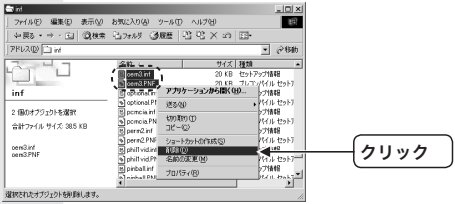
ドライバが削除されます。
確認メッセージが表示されたときは、 OK をクリックします。

6 **ドライバ情報を削除します。**
①[スタート]→[検索]→[ファイルとフォルダ]を選択します。

②検索条件の「含まれる文字列」に "LD100AL"、「探す場所」に "C:¥winnt¥inf" を入力して、検索開始(S) をクリックします。（Windows2000 を C ドライブにインストールしている場合）検索結果に "oem ＊ .inf" が表示されます。("＊" は数字です。この数字はお使いのパソコンの環境によって異なります。）



③手順②で見つかった "oem ＊ .inf" と同じファイル名で拡張子が .PNF の "oem ＊ .PNF" の 2 つのファイルを "C:¥winnt¥inf" の中から探して削除します。



注意 ドライバ情報を削除するときに、他のファイルを誤って削除したり、手を加えないでください。重大なトラブルの原因になります。

これでドライバのアンインストールは完了です。

WindowsXP でのアンインストール

1 スタートメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

2 【ハードウェア】タブで、［デバイス マネージャ(D)］をクリックします。
〈デバイスマネージャ〉画面が表示されます。

3 "VIA Compatable Fast Ethernet Adapter" を選択して右クリックし、「削除」をクリックします。
〈デバイスの削除の確認〉画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックします。
ドライバが削除されます。

これでドライバのアンインストールは完了です。

11 ネットワークの設定について

各 OS ごとに簡単なネットワークの設定例について説明します。お使いの OS、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。

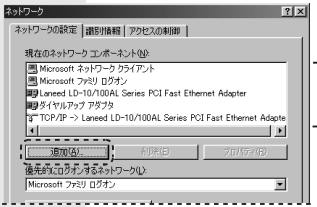
Windows98/98SE/Me でのピア・ツー・ピア環境の設定例

ここでは、Windows98/98SE/Me のネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア環境の設定例を説明します。実際の画面上の表示されるネットワークコンポーネント（サービス、プロトコルなど）は、ご使用の環境により異なります。

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。**
コントロールパネルが表示されます。

2 **[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。**
〈ネットワーク〉画面が表示されます。

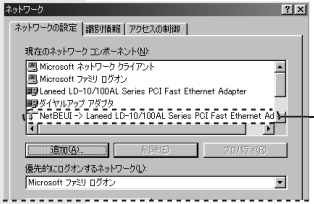
3 **〈ネットワーク〉画面の【ネットワークの設定】タブにある 追加(A)... をクリックします。**
〈ネットワークコンポーネントの選択〉画面が表示されます。



ご使用の環境により表示項目は異なります。

4 **[プロトコル]を選択し、 追加(A)... をクリックします。**
〈ネットワークプロトコルの選択〉画面が表示されます。

5 [製造元]で "Microsoft" を選択し、[ネットワークプロトコル]で"NetBEUI"を選択します。続いて OK をクリックします。
[現在のネットワークコンポーネント]に "NetBEUI" が追加されます。



6 手順**3**と同様に、〈ネットワーク〉画面で 追加(A)... をクリックします。
〈ネットワークコンポーネントの選択〉画面が表示されます。

7 [サービス]を選択し、 追加(A)... をクリックします。
〈ネットワークサービスの選択〉画面が表示されます。

8 [モデル]で "Microsoft ネットワーク共有サービス " を選択します。続いて OK をクリックします。
[現在のネットワークコンポーネント]に "Microsoft ネットワーク共有サービス" が追加されます

9 「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーク クライアント」になっているか確認します。
異なる場合は変更してください。

「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーク クライアント」になっているか確認します。
異なる場合は、変更してください。

10 ファイルとプリンタの共有(F)... をクリックし、開いた画面で " ファイルを共有 ..." " プリンタを共有 ..." を両方ともチェックし、 OK をクリックします。

11 〈ネットワーク〉画面の【識別情報】タブをクリックします。

12 内容を確認し、変更が必要な場合は[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力し、 OK をクリックします。
項目の意味については、15 ページの「Memo」を参照してください。
ディスクの挿入を促すメッセージが表示されたときは、ディスクを挿入します。詳細については、17 ページの手順 **8** を参照してください。

13 再起動を促すメッセージが表示されます。 はい(Y) をクリックします。
再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

> **Memo** ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定をおこなってください。
> ①共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックし、メニューを表示します。
> ②メニューから[共有]を選択し、必要な事項を設定します。

Windows2000 のネットワーク設定例

● Windows2000 でネットワークするための設定

Windows2000 には Administrator 権限でログオンしておきます。

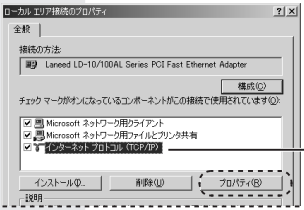
1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。**
コントロールパネルが表示されます。

2 **[ネットワークとダイアルアップ接続]アイコンをダブルクリックします。**
〈ネットワークとダイアルアップ接続〉画面が表示されます。

3 **[ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。**
〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。

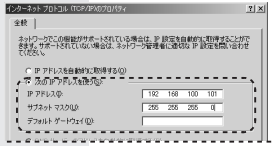
> Memo [ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面に表示されるアダプタ名から、ネットワークを設定するアダプタであるかを確認してください。

4 **[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、** プロパティ(R) **をクリックします。**
〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面が表示されます。



インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択

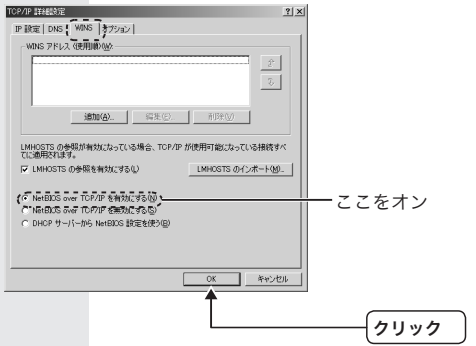
5 **IP アドレスに関する設定をします。**



・DHCP サーバ(機能)を使用している場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。
・DHCP サーバ(機能)を使用していない場合は、「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを入力します。「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバ」はルータなどを使用して LAN を超える場合に使用する項目ですので、ここでは入力していません。

6 **IP アドレスの設定が終われば、 詳細設定(V)... をクリックします。**
〈TCP/IP 詳細設定〉画面が表示されます。

7 **【WINS】タブで、「NetBIOS over TCP/IP を有効にする」ラジオボタンを選択して、 OK をクリックします。**
〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面に戻ります。



8 〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面→〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面で、それぞれ OK をクリックして画面を閉じます。さらに〈ネットワークとダイアルアップ接続〉画面を閉じます。

9 [コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックします。
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

10 【ネットワーク ID】タブで、プロパティ(R) をクリックします。
〈識別の変更〉画面が表示されます。

11 コンピュータ名とワークグループ名を設定し、OK をクリックします。
表示されているコンピュータ名とワークグループ名から変更する必要がない場合は、キャンセル をクリックします。

12 名称を変更すると確認メッセージ(コンピュータ名とワークグループ名の両方を変更した場合は 2 回)が表示されます。OK をクリックします。

13 〈システムのプロパティ〉画面で、OK をクリックします。

14 再起動を促すメッセージが表示されます。はい(Y) をクリックします。
再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

これで基本的なネットワーク設定は完了です。この他、同じ要領で実際の環境に合わせた設定をおこなってください。

Windows2000 のユーザ登録例

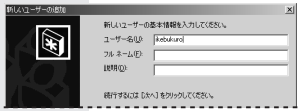
Windows2000 をインストールしたコンピュータにアクセスできるようにするには、あらかじめ、アクセスを許可するユーザを登録しておく必要があります。
ここでは、ユーザの登録例を説明します。

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。**
コントロールパネルが表示されます。

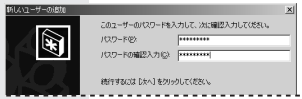
2 **[ユーザーとパスワード]アイコンをダブルクリックします。**
〈ユーザーとパスワード〉画面が表示されます。

3 **追加(D)...をクリックします。**
〈新しいユーザーの追加〉画面が表示されます。

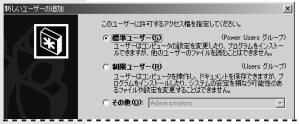
4 **アクセスを許可するユーザの名称を入力し、次へ(N) >をクリックします。**
ユーザ名は各コンピュータのコントロールパネルにある「ネットワーク」の「識別情報」（Windows98/98SE/Me の場合）などで設定している名称です。



5 **パスワードを入力し、OKをクリックします。**
Windows98/98SE/Me の Microsoft ネットワークログオンでパスワードを入力しなかった場合は、入力の必要はありません。



6 **登録したユーザに許可するグループを指定し、[完了]をクリックします。**
〈ユーザーとパスワード〉画面に戻ります。
「このコンピュータのユーザー」の一覧に、追加したユーザが登録されます。



7 **〈ユーザーとパスワード〉画面で[OK]をクリックします。**

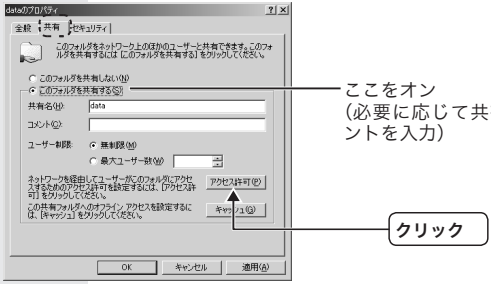
これで登録したユーザがアクセスを許可されるようになります。

Windows2000 の共有フォルダの設定例

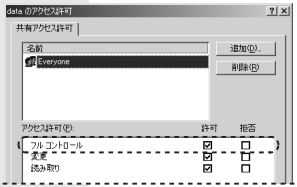
Windows2000 上のフォルダやドライブにアクセスできるように共有設定をおこないます。Windows2000 は、アクセス権の設定が Windows98/98SE/Me に比べて詳細になっています。また、NTFS フォーマットでドライブをフォーマットしている場合は、さらにセキュリティ設定が必要になります。

1 **共有したいフォルダを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。**
フォルダのプロパティが表示されます。

2 【共有】タブで「このフォルダを共有する」ラジオボタンを選択し、アクセス許可(P)... をクリックします。
必要に応じて共有名、コメントを入力します。

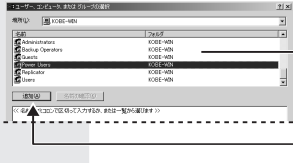


3 「フルコントロール」に設定されていることを確認し、OK をクリックします。
NTFS フォーマットでは、【セキュリティ】タブでアクセス権を設定します。
FAT フォーマットの場合は、この画面で 追加(D)... をクリックし、アクセスを許可するユーザまたはユーザグループを設定します。



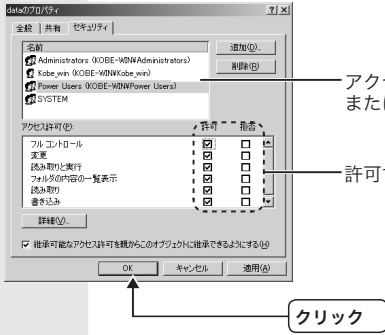
4 【セキュリティ】タブを選択し、追加(D)... をクリックします。
〈ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択〉画面が表示されます。

5 一覧から登録するユーザまたはグループを選択し、 追加(D)... をクリックします。
「名前」にユーザまたはグループ名が登録されます。
【セキュリティ】タブに戻ります。



Memo グループとして追加すると、グループに参加しているユーザーは全て同一の条件でこのフォルダを参照できます。

6 【セキュリティ】タブの「名前」の一覧でアクセス権を設定するユーザまたはグループを選択し、「アクセス許可」の一覧で許可する内容を設定します。設定が終われば、 OK をクリックします。



これで登録したユーザの共有フォルダへのアクセス権が設定できました。

WindowsXP のネットワーク設定例

1 **[スタート]→[コントロールパネル]を選択します。**
コントロールパネルが表示されます。

2 **[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。**
〈ネットワークとインターネット接続〉画面が表示されます。

3 **[ネットワーク接続]をクリックします。**
〈ネットワーク接続〉画面が表示されます。

4 **[ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。**
〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。

> Memo [ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面に表示されるアダプタ名から、ネットワークを設定するアダプタであるかを確認してください。

5 **「この接続は次の項目を使用します」欄に、「Microsoft ネットワーク用クライアント」が表示されているか確認します。**
インストールされていても、チェックマークがついていなければネットワークを使えません。名前の先頭にあるチェックボックスをチェックしてください。

ここをチェック

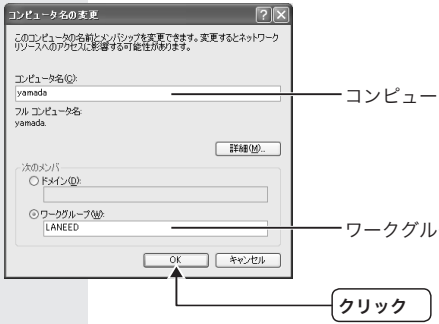
表示されていないときは、「Microsoft ネットワーク用クライアント」をインストールします。

①〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面で、[インストール(N)...] をクリックします。
〈ネットワークコンポーネントの種類の選択〉画面が表示されます。
②[クライアント]を選択し、[追加(A)...] をクリックします。
ネットワーククライアントの選択〉画面が表示されます。
③「Microsoft ネットワーク用クライアント」を選択し、[OK] をクリックします。
「この接続は次の項目を使用します」欄に「Microsoft ネットワーク用クライアント」が追加されます。

6 スタートメニューから[マイコンピュータ]を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

7 【コンピュータ名】タブで、[変更(C)...] をクリックします。
〈コンピュータ名の変更〉画面が表示されます。

8 コンピュータ名とワークグループ名を設定し、[OK] をクリックします。
表示されているコンピュータ名とワークグループ名から変更する必要がない場合は、[キャンセル] をクリックします。



9 名称を変更すると確認メッセージ(コンピュータ名とワークグループ名の両方を変更した場合は２回)が表示されます。[OK]をクリックします。

10 〈システムのプロパティ〉画面で、[OK]をクリックします。

11 再起動を促すメッセージが表示されます。[はい(Y)]をクリックします。
再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

これで基本的なネットワーク設定は完了です。この他、同じ要領で実際の環境に合わせた設定をおこなってください。

Memo ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定をおこなってください。
①共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックし、メニューを表示します。
②メニューから[共有とセキュリティ]を選択し、必要な事項を設定します。

12 アダプタのプロパティについて

アダプタのプロパティについて説明します。初期値は一般的に最適な状態に設定されていますので、通常は変更しないでください。

プロパティを表示する

アダプタのプロパティを表示します。

●Windows98/98SE/Me の場合

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。

2 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
〈ネットワーク〉画面が表示されます。

3 〈ネットワーク〉画面の【ネットワークの設定】タブから、"Laneed LD-10/100AL PCI Fast Ethernet Adapter（rev.B）" を選択し、 プロパティ(R) をクリックします。

4 【詳細設定】タブを選択します。
設定画面が表示されます。

● Windows2000 の場合

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。

2 [システム]アイコンをダブルクリックします。
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

3 【ハードウェア】タブを選択して、 デバイス マネージャ(D)... をクリックします。
〈デバイスマネージャ〉画面が表示されます。

4 「ネットワークアダプタ」欄にある "Laneed LD-10/100AL PCI Fast Ethernet Adapter（rev.B）" をダブルクリックします。
〈Laneed LD-10/100AL PCI Fast Ethernet Adapter（rev.B）のプロパティ〉画面が表示されます。

5 【詳細設定】タブを選択します。
設定画面が表示されます。

● WindowsXP の場合

1 スタートメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

2 【ハードウェア】タブを選択して、[デバイス マネージャ(D)] をクリックします。
〈デバイスマネージャ〉画面が表示されます。

3 「ネットワークアダプタ」欄にある "VIA Compatible Fast Ethernet Adapter" をダブルクリックします。
〈VIA Compatible Fast Ethernet Adapter のプロパティ〉画面が表示されます。

4 【詳細設定】タブを選択します。
設定画面が表示されます。

設定項目の詳細

プロパティの項目を選択すると、右側の内容が項目にあわせて切り替わりますので、設定を変更します。ここでは、Windows98の画面で説明していますが、他の OS でも同様の設定項目です。

項　目	説　明	初期値
Connection Type	伝送速度を設定します。	AutoSense
Driver Initial Delay	ドライバの初期化を遅らすときに指定します。	Disabled
Flow Control	フローコントロールを有効にするか設定します。	Hardware Default
Network Address	本製品の MAC アドレスをソフトウェア上で強制的に変更したい場合に、変更したい MAC アドレスを入力します。MAC アドレスの変更は、十分に知識のあるネットワーク管理者の指示で行ってください。通常は絶対に変更しないでください。	なし
Receive Buffers	受信バッファ数を指定します。	64
Transmit Buffers	送信バッファ数を指定します。	32
Validate Packet Length	パケット長を有効にするときに指定します。	Enabled

13 電源の管理について

お使いの OS とコンピュータ本体が ACPI をサポートしている場合、本製品からの電源の管理が可能になります。ACPI の対応については、コンピュータ本体に付属しているマニュアルを参照してください。

Windows2000 で電源を管理する

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。**
コントロールパネルが表示されます。

2 **[システム]アイコンをクリックします。**
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

3 **【ハードウェア】タブを選択して、** デバイス マネージャ(D)... **をクリックします。**
〈デバイスマネージャ〉画面が表示されます。

4 **「ネットワークアダプタ」欄にある "Laneed LD-10/100AL PCI Fast Ethernet Adapter（rev.B）" をダブルクリックします。**
〈Laneed LD-10/100AL PCI Fast Ethernet Adapter（rev.B）のプロパティ〉画面が表示されます。

5 **【電源の管理】タブを選択します。**
〈電源の管理〉画面が表示されます。

6 **有効にしたい項目のチェックボックスをチェックします。**

7 OK をクリックします。
設定が有効になります。

WindowsXP で電源を管理する

1 スタートメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

2 【ハードウェア】タブを選択して、デバイス マネージャ(D) をクリックします。
〈デバイスマネージャ〉画面が表示されます。

3 「ネットワークアダプタ」欄にある "VIA Compatible Fast Ethernet Adapter" をダブルクリックします。
〈VIA Compatible Fast Ethernet Adapter のプロパティ〉画面が表示されます。

4 【電源の管理】タブを選択します。
〈電源の管理〉画面が表示されます。

5 有効にしたい項目のチェックボックスをチェックします。

6 OK をクリックします。
設定が有効になります。

付録 1 こんなときは

●本製品をコンピュータに取り付けたところ、コンピュータ本体が全く起動しなくなった。

現在のご使用中のコンピュータですでに使用している IRQ、I/O ポートアドレスと本製品の IRQ が競合しているか、コンピュータに本製品を使用するために必要な IRQ の空きがないものと考えられます。コンピュータ本体のマニュアルなどを参考にして、IRQ、I/O ポートアドレスの空きを確保してください。

●LINK ランプが点灯しない。

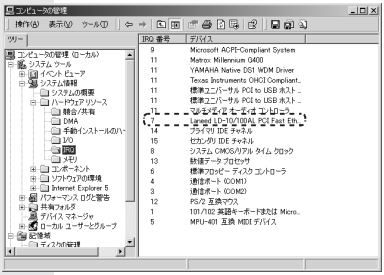
・HUB などにケーブルが正しく接続されているかを確認してください。HUB に接続している場合、ストレートケーブルで接続していますか？
・コンピュータ本体どうしを直結している場合、クロスケーブルで接続していますか？

●Windows98 でプラグ＆プレイでセットアップしたが、本製品を正常に認識できない。

お使いのコンピュータで IRQ が競合しているか、IRQ の空きがないことが原因と考えられます。
IRQ に空きがないと、本製品をプラグ＆プレイの状態でご使用いただくことはできません。コンピュータ本体のマニュアルなどを読んで、IRQ の使用状況を確認してください。

・**Windows98/98SE/Me 上での使用可能な IRQ の確認方法**
メニューバーの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]を表示し、「コンピュータ」を選択して プロパティ(R) をクリックします。一覧から IRQ を確認します。

・Windows2000 上での使用可能な IRQ の確認方法
メニューバーの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[管理ツール]→[コンピュータの管理]起動し、[システムツール]→[システム情報]→[ハードウェアリソース]→[IRQ]を選択します。一覧から IRQ を確認します。



・WindowsXP 上での使用可能な IRQ の確認方法
メニューバーの[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]を選択でシステムのプロパティ画面を表示し、→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャー]ボタンをクリックしてデバイスマネージャ画面を表示します。次に[表示]→[リソース(種類別)]または[リソース(接続別)]を選択します。一覧の「割り込み要求(IRQ)」をダブルクリックするとIRQ一覧を表示します。この一覧からIRQを確認します。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークコンピュータを開くと「ネットワークを参照できません。」というエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、本製品の設定を確認し、OS 側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

・ Windows98/98SE/Me 上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法
メニューバーの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]で[その他のデバイス]の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。
・ Windows2000 上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法
メニューバーの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[デバイスマネージャ]で[その他のデバイス]の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。
・ WindowsXP 上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法
メニューバーの[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]を選択でシステムのプロパティ画面を表示し、→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャー]ボタンをクリックしてデバイスマネージャ画面を表示します。[その他のデバイス]の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。

②ケーブル、HUB などを確認してください。
(現在、正常に動作しているケーブルがあれば交換してみてください。HUB の接続ポートを変更してください。)

③可能であれば、本製品を取り付けている PCI バススロットを変更してください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークを参照できない。もしくは、使用しているコンピュータしか表示されない。

①ネットワーク接続に必要なプロトコル、クライアント、サービスなどの設定が、使用するネットワーク環境に合った設定になっているかを確認してください。

②[スタート]→[検索]の[ほかのコンピュータ]を起動し、ターゲットのコンピュータのコンピュータ名を入力し検索してみてください。

●本製品を設定すると、フロッピーディスクまたは CD-ROM を要求される。

ネットワークの設定に必要なファイルは、弊社提供のドライバの他に Windows 側で提供されているファイルも含まれています。このような場合は、表示されるメッセージに従って、Windows の CD-ROM ディスクを CD-ROM ドライブにセットし、そのドライブのパスを指定してください。

例①　Windows98/98SE/Me の場合
〈CD-ROM のドライブ名〉:￥WIN98 または WIN9X

例②　Windows2000/XP の場合
〈CD-ROM のドライブ名〉:￥i386

●Windows98/SE/Me でネットワークに接続したが、ファイルやプリンタの共有ができない。

ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。

①[ネットワークコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]→[ネットワーク構成の一覧]に「Microsoft ネットワーク共有サービス」が組み込まれているかを確認してください。組み込まれていない場合は[ファイルとプリンタの共有]のチェックボックスをクリックしてチェックし、 OK をクリックしてください。

②共有したいフォルダやプリンタに共有設定をおこなっているかを確認してください。共有の方法は次のようにしてください。

・共有したいフォルダやプリンタで右クリックをしてメニューを表示します。

・共有という項目を選択し、「共有しない」になっている設定を「共有する」に変更して OK をクリックしてください。

●Windows98 で、「DHCP サーバーが見つかりません」と表示される。

このメッセージはエラー表示ではありません。使用しているネットワーク環境で「DHCP サーバ」が存在しない場合に表示されます。DHCP サーバとは、ネットワークプロトコルとして TCP/IP を使用する場合、各コンピュータに必要な IP アドレスを自動的に割り当てるサーバです(通常は WindowsNT サーバやルータが設定により、必要な IP アドレスを自動的に割り当てています)。Windows98 環境のネットワークで TCP/IP を使用した場合の初期設定では「DHCP サーバ」を使用して、IP アドレスを割り当てるようになっています。使用しているネットワーク環境に DHCP サーバが存在しない場合や見つからない場合に、上記メッセージが表示されます。実際に DHCP サーバを設定していない場合は、このメッセージが表示されたとき、今後このメッセージを表示しないように[NO]をクリックしてください。また、TCP/IP の設定をおこなう場合は特別知識を必要とすることもあります。IP アドレスの設定がわからないときはシステム管理者に相談するか、TCP/IP のプロトコルを使用しないでネットワークを構築してください。ただし、TCP/IP を使用しない場合は、他のプロトコル(NetBEUI など)を追加してください。

●Windows98SE の場合、レジューム後ネットワークに接続できない。

Windows98SE をお使いの場合でネットワークプロトコルに NetBEUI のみを使用したネットワークを構築している場合、スタンバイの際に Microsoft ネットワーククライアントなどのモジュールが正常にスタンバイ処理されないため、レジューム後ネットワークに接続できなくなります。TCP/IP など、ほかのネットワークプロトコルを追加して使用してください。

これは、本製品の不良ではなく、Windows98SE によるものです。
詳しくは Microsoft 社のサポート技術情報をご覧ください。

- サポート技術情報
  http://www.microsoft.com/japan/support/
- W98SE: スタンバイ / レジューム後ネットワークに接続できなくなる
  http://www.microsoft.com/ japan/support/kb/articles/J050/6/51.htm

前ページの方法でも問題が解決しない場合は、laneed サポートセンターへ連絡してください。

Laneed サポートセンターへ連絡する前に

Laneed サポートにご連絡いただく際には、迅速にサポートができるように、次の内容を事前に調査・確認していただいた上でご連絡いただきますようお願いいたします。
ご連絡いただく際には、不具合の発生する端末もしくは HUB の前から連絡いただきますと、スムーズにサポートがおこなえます。

ネットワークの環境について確認します。

- 使用している OS とバージョン
- 使用しているネットワークアダプタのメーカ名、型番、設定内容、使用しているケーブルの種類、メーカー名、ネットワーク構成や、ネットワークに接続しているパソコンの台数

不具合の状況について確認します。

- 本製品のリンクランプ(LINK)や、接続しているネットワークアダプタのリンクランプの状態はどうなっていますか。

以上の内容を確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

付録 2 仕様

商品名	PCI バス対応 10/100Mbps イーサネットボード
製品型番	LD-10/100AL
規　格	IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3x 標準
メディアタイプ	10BASE-T, 100BASE-TX
伝送速度	10Mbps/100Mbp、 20Mbps/200Mbps（フルデュプレックス時）
対応バス	PCI バス
LED	100M（緑：接続環境） LINK （緑：リンクの確立） ACT （緑：データの送受信）
適合規格	FCC Port15 ClassB、CE マーキング、VCCI 第二種情報処理装置
消費電力	2W
動作温度	動作時：0 ～ 55℃ 保存時：-20 ～ 80℃
動作湿度	10 ～ 90%（結露なきこと）
対応機種	IBM PC および PC/AT 互換機（DOS/V）、 NEC PC98-NX シリーズで以下の条件を満たすもの（自作機および同等のものは除く） ・PCI バスの空きスロットがあること ・IRQ の空きがあること
対応 OS	WindowsXP、Windows2000、Windows98、Windows98SE、WindowsMe
付属品	ドライバディスク 1 枚、ユーザーズマニュアル、保証書、Navitool Lite ディスク 1 枚

PCI バス対応 10/100Mbps イーサネットボード
LD-10/100AL

User's Manual
発行 エレコム株式会社
2002 年 4 月 25 日 第 1 版
2002 年 10 月 31 日 第 2 版

©2002 ELECOM Corporation, All roghts reserved.

LD-10/100AL

Laneed

ELECOM